

議会運営委員会事務調査報告

1 調査事項

(1) 議会運営の活性化について

2 調査場所

(1) 北海道福島町

3 調査の目的とするところ

類似町村の議会運営に関する調査を実施して、当町議会活動の一助とする。

4 調査期間

平成30年10月17日(水)～10月18日(木)

5 調査委員

(委員長) 鹿兒島 巖 (副委員長) 船水 隆一

(委員) 亀田 利美、栗山 忠三

6 調査の内容

(1) 町の概要

①沿革・地勢

北海道の渡島半島の南西部に位置して総面積は187.28km²を有し、北には道南の秀峰大千軒岳がそびえ、南は紺碧の津軽海峡に面した町である。北海道の中では、対馬暖流の影響により、年間を通じて比較的温暖な気候に恵まれている。

②人口・産業別就労人口割合

・人口

4,107人(平成30年12月末日現在)

・産業別人口割合

第一次14.4% 第二次38.7% 第三次46.9%

(平成27年国勢調査)

③産業

津軽海峡に面していることから、自然的・資源的条件を生かした漁業と水産加工業が盛んである。特産品は、生産量日本上位を誇る「するめ」のほか「昆布」、「水産加工品」などがある。

また、農産物では「黒米」・「横綱しいたけ」なども有名である。

(2) 調査テーマ

①議員自己評価の取り組みについて

②議会改革について

(3) 調査事項

今回の研修は、福島町議会の議会活性化の取り組みが、平成26年度に全国町村議長会から特別表彰を受賞するなど、全国でもトップクラスの議会活動ということで視察調査を行いました。

○具体的な施策について

- ・議会基本条例に定められている内容の実効性を明らかにするために、1年間の議会活動の実態や問題点などを報告書として公表し、目的達成のために議会白書を作成している。
- ・開かれた議会づくりのために、議員が議員活動の目標をたて、「議会の評価」や「議員活動の自己評価」を行い、議会だより等で公表するなどの先進的な取り組みが行われている。
- ・一般質問等に対して町長等が「検討します」等の答弁があった場合について、その後の状況について次の議会で報告してもらう、一般質問等答弁進捗状況調査を実施している。
- ・町が事務事業の評価を実施した内容について、議会のチェック機能と併せて翌年度の予算に反映させる目的で、それぞれの事業について議会としての行政評価を実施している。
- ・通年議会を採用していることから、議員と語る会や事務事業評価、一般質問及びその他の質疑意見交換などから課題となる調査事件を決定して、随時委員会審議を行い、次の定例会で報告している。
- ・各定例会後には必ず議会運営委員会を開催して、議会の反省事項について議論して改善に努めている。

(4) 所 感

事務調査の受入について、事前に質問事項をお知らせしたところ、視察当日の意見交換を有意義に行いたいということから事前に詳細な回答をいただき、当日は長時間にわたり有意義な意見交換ができた。また、意見交換会では、議長、副議長、運営委員長に対応していただき、当議会で視察受入対応をするうえで参考になった。

議会と議員の自己評価の取り組みは、議員活動、議会活動が低下しないようにと繰り返して意識するように心がけて実施しており、この姿勢は学ぶべきと受け止めました。

一般質問等に対して執行部が「検討します」等と答弁した場合について、その後の状況を調査し公表する、一般質問等答弁事項進捗状況調査については、当局が問題の先延ばしをする答弁が少なくなったとのことであり大変参考になった。当議会でも31年度から取り組みができるようにしたい。

他町村に比べて議会事務局職員（福島町4人 ※全国町村平均2.5人）が多く、議会白書を作成するなど事務局体制が強化されており、それだけ議員活動が活性化しているのと思う。

今回の研修で改めて、議会基本条例を全議員で再度認識して議員活動をしていくことが必要であると感じた。